

## R3年度大学院実践演習のプロジェクト・テーマ候補一覧

No.	テーマ名	クライアント名	必要な技術シーズ	備考
1	(継続) ソフトウェア開発プロジェクトの見える化支援ツール	株式会社ハウインターナショナル	ワークフロー支援、業務支援、ソフトウェア開発	(協力者) 株式会社ハウインターナショナル 安永先生を中心に、需要創発専任研究職員によるサポートを予定。
2	(継続) スクールバスチケットシステムの構築	情報工学部	ICカード等の利用技術 ソフトウェア開発プロセス データベース構築技術	(協力者) 日鉄日立システムエンジニアリング 安永先生を中心に、需要創発専任研究職員によるサポートを予定。
3	(継続) バイオ3Dイメージングシステムの構築	バイオイメーキング研究グループ (安永卓生教授)	3次元プリンタの利用技術 3DCAD、STLフォーマット 生物構造の表示方法	(協力者) 日鉄日立システムエンジニアリング 安永先生中心に、需要創発専任研究職員によるサポートを予定。
4	(継続) 脳波測定による認識システム	バイオイメーキング研究グループ (安永卓生教授)	脳波測定、情報認識、システム開発	(協力者) 日鉄日立システムエンジニアリング 安永先生を中心に、山崎先生・需要創発工房専任研究職員によるサポートを予定。
5	(継続) CHIKUSKI WEB利用ユーザーの増加	株式会社トーン	ICカード等の利用技術 ソフトウェア開発プロセス データベース構築技術	(協力者) (株) トーン 安永先生を中心に、需要創発専任研究職員によるサポートを予定。
6	(継続) 生物画像情報の解析システム	バイオイメーキング研究グループ (末田慎二教授)	画像情報処理、蛍光顕微鏡イメージ、システム開発	(協力者) 日鉄日立システムエンジニアリング 安永先生を中心に、需要創発専任研究職員によるサポートを予定。
7	(継続) パワー制御系に関する研究	株式会社タダノ	機械作りに関する各種要素技術 技術の合成能力	(協力者) タダノ・日本自動車研究所 現在、客員教員によるサポート。
8	(継続) フィールドロボティクス・システム	社会ロボット具現化センター (林英治教授)	自律移動、制御、画像処理、デザイン、ICTの技術と、林学・農学	(協力者) 社会ロボット具現化センター構成員 林先生を中心に、社会ロボット具現化センター及林業・農業コンソーシアムメンバーによるサポート有。農地から中山間地、森林で稼働できるロボットおよび技術要素の開発・試作を行います。
9	(継続) AI と IoT を活用した情報サービスソリューション	富士通九州ネットワークテクノロジーズ (株)	位置測位システム WEB アプリケーション開発 モバイルアプリケーション開発 ソフトウェア開発プロセス プロジェクトマネジメント	(協力者) 富士通九州ネットワークテクノロジーズ (株) 梅田教授、片峯准教授のサポート。
10	(継続) 接触型移動通信端末とAR技術を用いた学内案内システムの開発	情報工学部広報室	AR技術 携帯用端末等によるアプリケーション開発	構内の案内やISG等の展示品の説明などを携帯端末等をかざすことで、AR技術を用いて表示できるサービスの提供を考えています。
11	(継続) インジェクションモールドデザイン・解析・製造と実成形	日本金型工業会	3次元プリンタの応用、 3Dデザイン、機構設計、 CAM、CAE解析	(協力者) 実習工場 檜原先生を中心に、実習工場及び客員教員によるサポート。 充実した基礎知識の座学を組み込み、学んだ内容を使って、試作のレベルを超えて実際の生産まで行います。
12	(継続) HPC クラスターのインスタント構築基盤スクリプト/APIの開発	さくらインターネット (株)	クラウド構築基盤 ハイパフォーマンスコンピューティング (HPC) UX/UI	(協力者) さくらインターネット (株) メンター教員として、安永先生を中心に、さくらインターネットで提供されるクラウド構築基盤の改善を試みます。ハイパフォーマンスコンピューティング (HPC)用のクラスター計算機の構築の仕組みの開発、利用者のUX/UIの設計と改善を試行します。